

彩椿



for adult only

彩椿



前説。

毎度ありがとうございます。綾坂です。何だ？今回新刊じゃないのか？と思われた方すみません。去年完成を見なかった原稿の終了版でして、まあ、うちとしてはうちがデジタルで1C原稿をやるとどうなるか、という実験でして、うちにとっては意味のあるものなのです。なので、ソウルイーターの椿の本ですが、実験は実験として、冬CD版をお買いになられた方も一応楽しめるはずくらいには手を入れました。喜んでいただければ幸いです。

あ～それから。皆さんお待ちかねのうちの看板であり、なおかつ今回のカタログのカットでもあった「涙月」ですが。また落としました。すみません。いえまったく自分の不徳のいたすところで。ブログでお客さんにも怒られました。煩惱と氣力をためてがんばりたいと思います。

これ、椿の本ですが、一番最後に別のキャラが載っています。今テレビやってる最中のアニメ「化物語」から戦場が原ひたぎ。最後まで今回描きたかったモチーフでした。羽川翼を描けなかったのが心残り。そちらはまた機会があれば。

今回もぎりぎりのスケジュールの中でがんばってくれたスタッフと、本を作ってくださったニモ印刷さまに感謝。

奥付

2009年8月14日 発行 スタジオSKB



「ブラック☆スターに
手出しはさせません!!」

「ムダだ
武器のお前
では勝てん」

「それでも
命を懸けて
阻止します!」

そのくらの
覚悟は
できてます!」

「—ほう?—
おもしろい」



「よかろう
その覚悟
見せてみる」

「—っ!—!」

「俺を納得
させられれば
助けてやらん
事もない」

「本当…ですね…」

おきゅ

「女は久しぶりだからな」

「たっぶり
味あわせてやるぜ」

…ブラック☆スター…
…きつと私が
守ってみせる…

もみ

「青くせえ
ガキだが
いい体してやがる」

もみ

「フッフッフ まったく
このもみごごち
たまんねえな！」

「…っ…っ…っ…」

「俺は乳首
いじるのが
大好きだよ」

「ほれほれ」

「ううっ
うあ…」

「こりこりに
シヨツてるぞ」

「あーっ」

「んく…!!」

樁の中に
電気が走る



「しっしっ」
こいつの指...
「あ...」
「あうっ」
「び...ん」
「ううっ」
「やだ...」
やだあ...
「ぎゃ」
「今までに男としたことは？」
「...っ」
ありません...
「...」



「くっくっ」
「そうかそうか」
「あッあッ」
「あうあッ」



「じゃあおれがはじめての男か」

「.....」

じゅじゅ
じゅじゅ

ぬ
ぬ
ぬ

「抵抗したければすればいい」

「だが その時は」

「っ...」
「こんな男が私の始めて...」

「ブラック☆スタァは私が守る...」

「もつとケツ
持ち上げろ。」

「良く見える様に
指で開け」

「お前の処女膜
見せてみろ」

「……」

「く〜く〜
シヨンペンくせえ
小娘のマンコの
においだ」

「処女の
においだ」

「見てる……
私のアッコを……」

「これが
未使用の
マンコの色か」

「この色の
薄いのが
処女膜か？」

「し……
知りません……
自分じゃ
見えません
から……っつ」

く
に
う

「そりや
そうだよな」

「あの小僧にも
見せたことないのか？」

「……は……」

「……」

「いやあ……
アッコを……」



「皮かむりだ」



「こりやっで
クリをいじった
事は？」

「あッあッ」

「皮ムイたり
かふせたり」

「あ……っ！
ありませ……」

「な……何これ……
あそこが……うつく……」

「あう……や……
やめて下さ……」

「へえ オナニーも
知らねえのか」



「ひっ……？」

「お……おな……？」

「こいつは
面白え」



「あああッ
そ……っ
汚……っ」

「どうせなら
穴ポコ開ける前に
味わって
おがねえとなあ」

「ひ……
ひ……
ひ……」

「ションベンくせえ
小娘と思ったが」

「れろ
れろ
れろ」



「いい味出して
るじやねえか」



「あぁーっ」

「あッあッあッ
あうあッあッ」



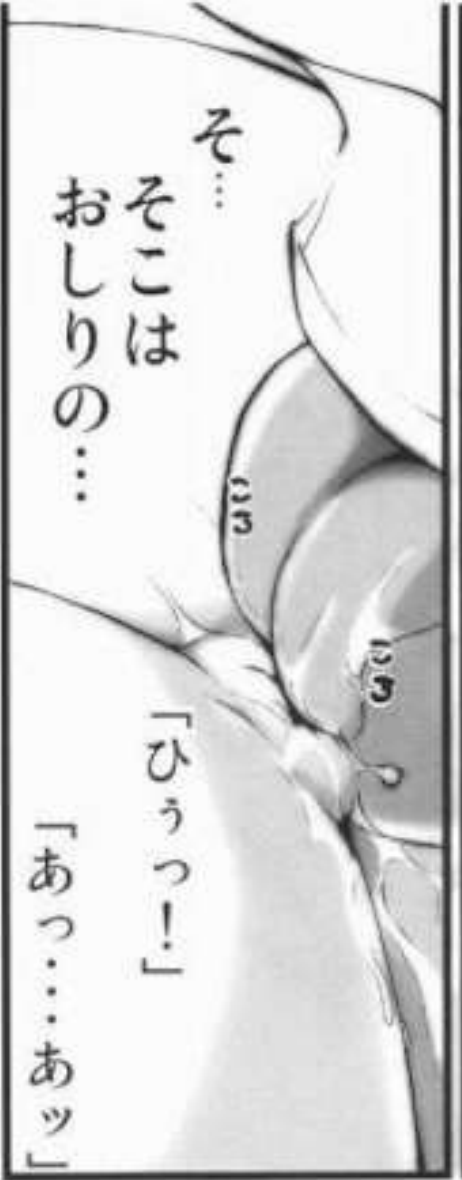
「だっだめです
やっせーっ!?!」

「あぁあッ!?!」

「あぁあッ!?!」

「あぁあッ!?!」

「はぁっ!?!あッ!?!」

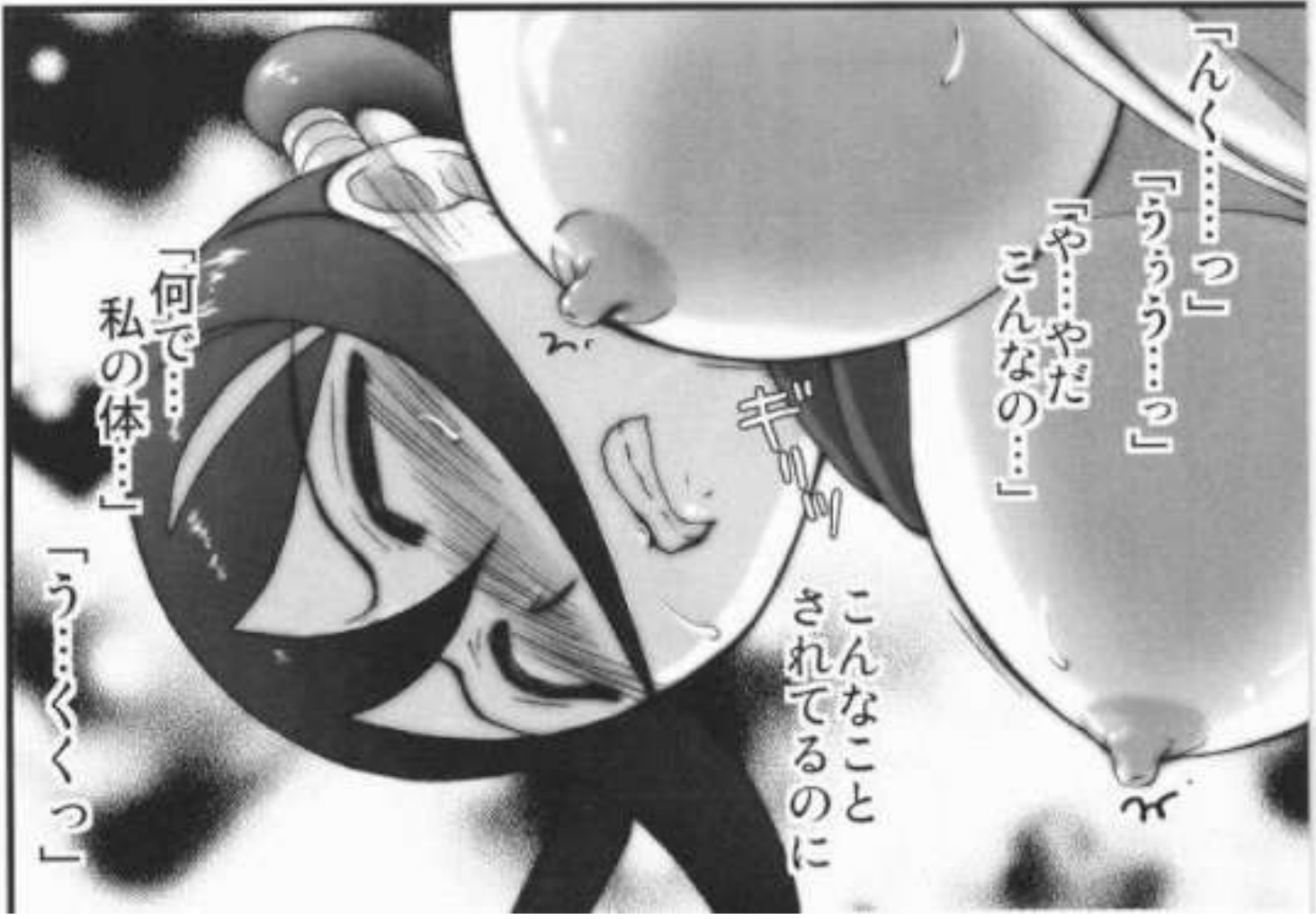


そ…

そこは
おしりの…

「あッ!?!あッ!?!」

「あッ!?!あッ!?!」



「んく…」

「うらうら…」

「や…やだ
こんなの…」

こんなこと
されてるのに

「何で…
私の体…」

「う…く…く…」



「これが…男の…」

「舐めろ」



「う…
ツンとする
においが…」

「丁寧に
舐め残し
ない様
にな」

「気持ち
悪い…」

「変な味…」

「舌が
ビリビリ
する…」

「ん…」

「うえ…」



「しゃぶれ」

「…」

「ぐ…」



「く…苦し…」

「うぐっ」

「うえっ」

「ん…」

「ブラック☆スター…」

「ぐい」

「あ」



「お…お願い…します
私の…」

「こじや
わかんないだろ
オマンコだろ」

「お…
おまんこ…」

「良く見えねえぞ
もつとひろげろ」



「あ あなたの
股間のソレ…」

「チンポが
はつきり
言え」

「ち…チンポを…
入れて…下さい…」

「処女をもらうぞ
いいんだな？」

「はい…はい…」

「マンコの中で
精液フチュフチュ
出すぞ
いいんだな？」

「はい…はい…」

「孕んじまっても
いいんだな？」

「……………
……………」

「よし 頼まれちゃ
仕方ねえ」

「一発で孕めるように
子袋いっはいい
種つけてやる」

「いいか 目を
離すんじやねえぞ」

「おまえを女にする
大事なチンポが
入っていく瞬間だ」

「……はい……」

ブラック☆スター
……っ

私が……
守るから……っ

私が……

……っ

ブラック☆スター
……



「ひ……」

「……こんなの
入るわけ……ない……っ」

「小さいマンコに
無理やり……つてのが
気持ちいいんだよな」

…… いやだ……

いやだ

ひひひ
ぐぐぐ

いやだ
いやだ

「Spooon」

「……」

「いや……」

……助けて

「……あ……
あああああ」

……助けて……っ



「オラ！」



「~~~~~！」

「ぎゅ……っ」

「あああ……ああ……」

「入ったぜえ」

「根元まで
ぐっぽりだ」

「……ああ……」

「ひい……っ」

「でけえだろ？」

「へっまで
届いてんぜ」

「ああ……っ」

「いやああ……」

「つかあ……っ」

「しっかし
処女まんこ
串刺しは
効くなあ！」

「ギチギチに
締めつけやがる！」

「あ……あああ」

「ポコッ」

「いや……
いやあ……っ」

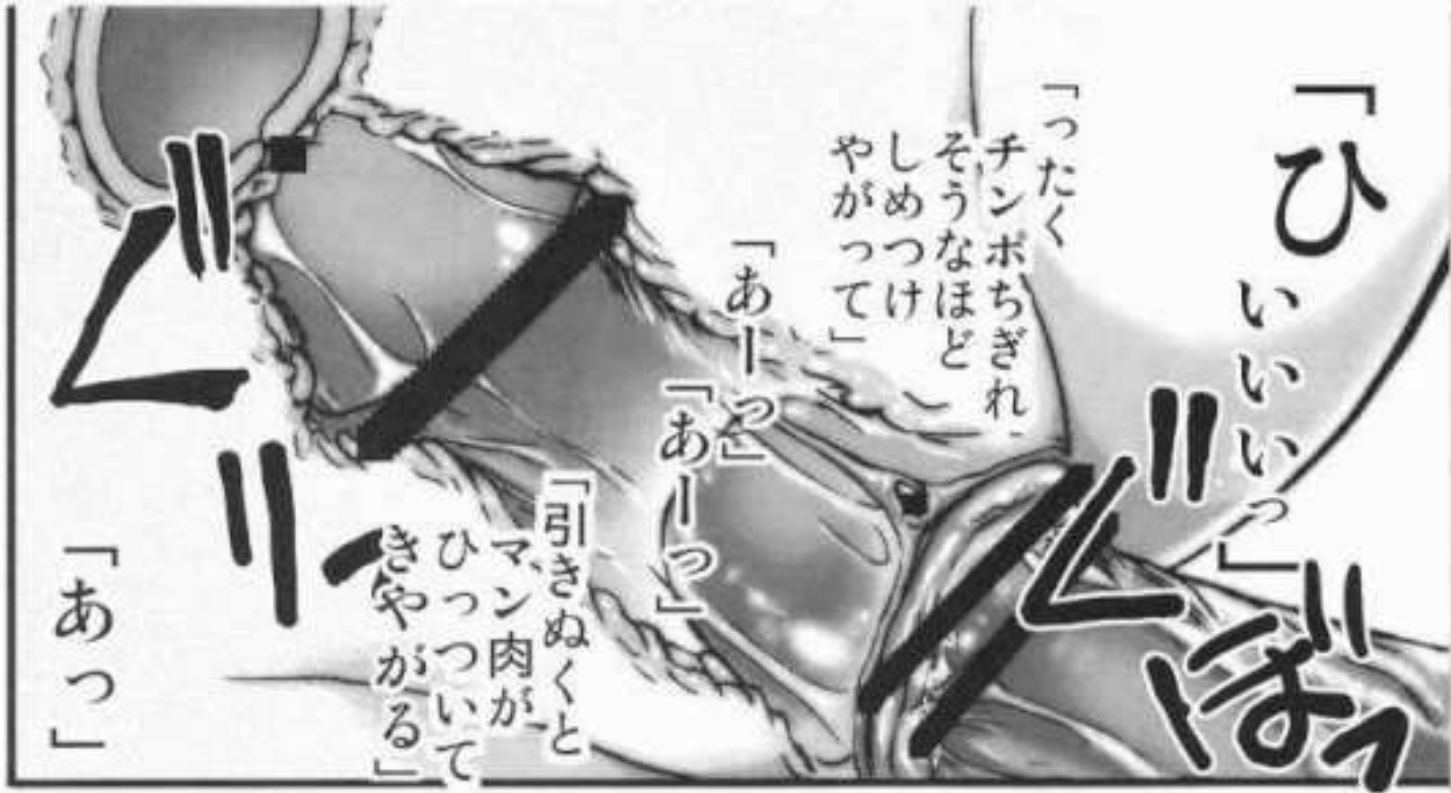
「わ……私……」

「私のはじめて……」

「わああ……っ」

「まだ穴あけた
だけだろ」

「ひぎ」



「ひいひい」

「まったく
チンポちぎれ
そうなほど
しめつけ
やがって」

「あーっ」
「あーっ」

「引きぬくと
マン肉が
ひつついて
きやがる」

「あっ」



「俺のチンポ
そんなにいイのが」

「ひいー」

「子宮にチンポ
あたりまくって
るぜ」

「痛い
痛いー」

「かっ
かっ」

「大人顔負けの
いやらしい体
しやがってよー」

「死んじやう
死んじやう」

「かっ
かっ」

「あーいいいぜえ
いいぜえ」

「ひいいいっ」

「だんだん まんこ
ほぐれてきったぜ」

「いやあー」

「好きでもない
男に犯されても」

「いやあー」

「体は喜ぶん
だなあっ」

「ちがーい」

「ガキのくせに
この淫売がこ

ぐちゅっ

ぐちゅっ
「あーっ」
ぐちゅっ
「あーっ」

「く……
てめえの
よすぎ」

「この俺様が」
「あーっ」

「うわ
だまんねえ」
「あーっ」

「あーっ
あーっ」

「こんななんじや
すぐでちまうぜ」

「あッあッあッ」

スリ
スリュッ
スリ
スリュッ

いや、
いやあ

「来たぞ」
「ひっ」

「来た
来た
来た」

「出すぞ
出すぞ
出すぞ」

「やだあ助けてっ」

「やっぱり」

「瞳なまはいやあ」

かぐっ

かぐ

「くっ」

「二番奥で」

「出してやるっ」

「いやーっ」

「孕めー」

「いや」

「いやあああああ」

「っ！」

ズ
ド
ン

「きゃあああ」



「いやああ
妊娠しちやうううっ」

「きやあああっ」

かく かく

びん びん

熱いのが
出てるっ

あーっ



私…

汚れちゃった…

ズル…ズル…

どろろ

あ…あ…あ…

まだ…

田中…

さよなら

ブラック☆
スター





2009 summer

studio SKB